

令和7年度第1回一関市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第1回一関市スポーツ推進審議会
- 2 開催日時 令和7年5月12日（月）午後2時から午後3時30分まで
- 3 開催場所 一関市役所本庁会議室棟第3会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 伊藤成子委員、及川加奈子委員、小野寺勝委員、小幡和夫委員、佐藤義行委員、亀谷キイ子委員、菊池正人委員、佐々木賢治委員、橋本ゆかり委員、須藤光子副会長、平野和彦会長、藤原洋委員、佐々木貴浩委員、阿部富美雄委員
※欠席者 及川圭二委員、清田博美委員、千葉京子委員、千葉美幸委員、沼倉恵子委員、渡邊和貴委員
 - (2) 事務局 小野寺愛人まちづくり推進部長、平石剛まちづくり推進部次長兼スポーツ振興課長、小野寺孝良スポーツ振興課長補佐兼スポーツ施設係長、濱井大輔スポーツ振興課スポーツ交流係長、阿部和恵スポーツ振興課主査、菊地海人スポーツ振興課主任主事
- 5 議題
次期スポーツ推進計画策定に係る説明
 - (1) （仮称）第2次一関市スポーツ推進計画について
 - (2) 今後のスケジュール（案）について
 - (3) アンケート調査の実施について
 - (4) ワークショップ・懇談会の開催について
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者の数 なし
- 8 委嘱状交付
佐藤市長から新しく委員となる5名（1名欠席）に委嘱状を交付した。
- 9 諮問

佐藤市長から平野和彦会長へ、一関市スポーツ推進審議会条例第2条の規定に基づき、(仮称)第2次一関市スポーツ推進計画の策定について諮問をした。

10 佐藤市長挨拶

皆様お疲れ様でございます。大変お忙しいところ、一関市スポーツ推進審議会にお集まりいただき、ありがとうございます。

先ほどは、新たにお願ひします方々に委嘱状を交付させていただきました。よろしくお願ひいたします。

本日は、先ほど第2次となるスポーツ推進計画の策定について諮問をいたしました。第2次というのは、今の計画が同じ名称で既にありますので、同じ名称としては第2次ということですが。

大本となる総合計画も10年間のものが二つ今年で終わって、来年からのものを策定しています。

なぜ、スポーツに関する特化した計画を作るのかということですが、一番はスポーツというものが果たす役割、機能、その効果とかが一番大きいと思っています。

市では、誰でも、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境を作っていくことを柱にしています。例えば、子どもの頃であれば、スポーツ少年団であったり、中学・高校の部活動であったり、あるいは一般、社会人のスポーツであったり、シニアの方であったりがスポーツに親しんでいけることは、身体だけではなく、コミュニティの分野においても、生きがいつくり、健康づくりの面においても効果がありますし、それが競技スポーツとなれば、なおさら発信力というものが大きいので、例えばスポーツをしていくステージとして、学校、職場、地域がありますけれども、そのどれかに属してスポーツを行っているかと思いますが、そのどれにも好影響を与えていく、それがスポーツの力だと思っています。

ところが、スポーツも肝心の人々がだんだん少なくなっています。

市町村合併の前から人口減少が始まっていますが、どんどん少なくなって、人口減少が最大の課題です。

30年程前から、下り坂が急になってきまして、ここから先は減っていく一方であると、分母対分子の関係で申し上げれば、分母はどんどん少なくなっていくと思います。

先ほど申しましたように、スポーツの果たす役割、効果、そういったものを考えれば、分母は減っていきますが、分子つまりスポーツに携わる方々の活動量というものを逆に増

やしていかななくてはならないと思っています。

それによって社会全体として、スポーツによってもたらされる効果といったものが、継続できると思っています。

例えば、学校現場であれば、児童数の減少により学校の部活動が成り立たなくなっており、地域部活動への移行ということとなりますが、そこにおいても指導者等の人材不足がございます。

同じような話が、種目別の団体においても、地域ごとの体育協会においても取り上げられていると思います

そのこのところを我々としては、作戦を立てて対処していき、向こう5年間の計画を作る予定ですが、そこにおいてもしっかりスポーツの果たしていく役割、持続できるような組立をしていく、それが一関市スポーツ推進計画の意味合いであります。

したがって、合併してから5年ほどたってから策定したものと比べて意味合いみたいなものは随分違って来るかと思っています。人口減少というハードルの中で、スポーツの持つ力というものを続けていくためには、どうしたらよいのかななどを審議していただきます。

今日は第1回目の審議会でございますので、事務局からスケジュール、様々な調査の説明を行います。そういうところから本格的に策定作業が始まります。

皆様は、それぞれの地域あるいは種目別の団体の代表の方ですので、それぞれが抱えている課題といったものも話していただいて、計画が策定できればと思いますので、よろしくお願いいたします。

11 協議内容

現スポーツ推進計画（令和2年度から令和7年度まで）の概要を事務局から説明を行った。

(1) （仮称）第2次一関市スポーツ推進計画について

資料に基づき、事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

(2) 今後のスケジュール（案）について

資料に基づき、事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 今後のスケジュール（案）について、7月末まで各地域でのワークショップを行うというスケジュールだが、この各地域というのは、旧町村単位で行う

のか。

事務局 想定しているワークショップは、東磐井地域と西磐井地域でそれぞれ2回ずつ予定している。それぞれの地域の方々に案内をし、開催することを考えている。

(3) アンケート調査の実施について

資料に基づき、事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

(4) ワークショップ・懇談会の開催について

資料に基づき、事務局から説明を行った、以下、質疑応答等。

委員 ワークショップや懇談会には、審議委員の役割として参加して皆さんの意見を事務局と一緒に聞けばいいのか、自分が所属する団体のことだけ話を聞いて意見を言えばいいのか、その辺りの審議会委員としての役割を改めて伺う。

事務局 審議会委員として、一関市全体のスポーツ振興に関してのご意見をいただければ幸いであるので、いろいろな知見と角度から貴重なご意見をいただければ大変ありがたい。

委員 その場合に、こういう懇談の場に出て、話を聞いた方がいいのか。そういうことであれば広く意見も言えるのかなと思う。ただ、審議会委員として仰々しく参加するというのではなく、どういう観点でワークショップや懇談会に加わればよいのかと思ったので伺った。

事務局 特段、審議会委員の皆様には、ワークショップや懇談会への出席は求めている。ただ、今後審議会を開催していく上で、実際に地域の皆様の意見を聞いてみたいということであれば、地域の皆様にお知らせしている、これから計画しているワークショップや懇談会の日程を委員の皆様にもお知らせする。強制ではないが、いろいろな話を聞いてみたいということであれば、参加を妨げるものではなく、事務局に連絡いただければ、席を用意させていただくので、開催については事前に情報提供をさせていただきたい。

委員 競技団体との懇談会の中で、中学校体育連盟・高等学校体育連盟が屋内・屋外競技のどちらにも入っているが、イメージとしては競技専門部の担当者が参加するのか、事務局の参加でよいのか伺う。

事務局 競技専門部の担当者に参加いただければ、より具体的な話をお伺いできるか

と思うので、できれば競技専門部の担当者に参加いただければと考えている。

委員 懇談会は、各種目別からは何人参加するのか。人数制限があるのか。

事務局 ご案内する競技団体の数も多いので、一人から二人程度の参加でお願いしたいと考えている。

出席者についての人選は、各競技協会に任せることで考えている。

12 担当課 まちづくり推進部スポーツ振興課